



2019年 12月

株主通信 セコム株式会社

第59期中間報告書 [2019年4月1日から
2019年9月30日まで]

Top Message

変わりゆく社会に、変わらぬ安心を提供し、
社会とともに持続的な成長を目指す

多様化するセキュリティニーズへの取り組みや、「東京2020大会」に向けた想いについて、社長の尾関一郎からご説明させていただきます。

セコム株式会社 代表取締役社長 **尾関 一郎**



多様化するセキュリティニーズへの 取り組み状況について

セコムは、進化し続ける時代、高度化し多様化する社会、これら为先取りした次世代の「安全・安心」を創造するため、セキュリティのパイオニアとして培ったノウハウを活かし、社会・犯罪・技術動向を見据えながら、時代に先駆けたサービスを創出してきました。

現在、セキュリティに対する社会のニーズは多岐にわたり、セコムに求められる“お困りごと”も多様化しています。9月には、高度なセキュリティから働き方改革までお客様のありとあらゆるニーズに応える、システムセキュリティ「AZ」の販売を開始しました。防犯や防災などのリスク管理から、従業員の就業管理などによる事業効率化まで、企業の事業運営に有益な機能をオールインワンで提供します。

また、社会のニーズに応えるサービスを“より多く”、“より早く”生み出せるよう、想いを共にする産・官・学のパートナーとのオープンイノベーションによる“共想”戦略にも取り組んでいます。

今後も、潜在的なセキュリティニーズを掘り起こし、社会に幅広く「安全・安心・快適・便利」を提供できるよう邁進していきます。

東京2020オリンピック・ パラリンピック競技大会へ向けて

セコムは、日本初の警備保障会社として1962年に創業し、2年後の東京1964大会での警備をきっかけに飛躍的な発展を遂げ、今日の成長に至りました。

来年の東京2020大会を1964年の恩返しとして位置づけ、「東京2020オフィシャルパートナー（セキュリティサービス&プランニング）」としてこれまでの警備の実績やノウハウをフル活用するとともに、2018年4月に設立した東京2020大会警備JVの共同代表として“オールジャパン体制”で「安全・安心」な大会に貢献できるよう全力で取り組んでいきます。

最後に、株主の皆様へ

社会では、テクノロジーが進化し生活が便利になる一方、人手不足や環境問題の深刻化など、時代の変化とともに社会課題も大きく変わっています。セコムでは、「セコムグループ2030年ビジョン」で示す「あんしんプラットフォーム」構想の実現に向け、多様化する安心ニーズや、一人ひとりの不安やお困りごとに対して、きめ細やかな切れ目のない安心を提供できるよう、取り組んでいきます。

引き続き、セコムグループの持続的な発展に力を尽くして参りますので、今後とも私たちセコムグループにご期待・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さまざまなサービスをオールインワンで提供する システムセキュリティ「AZ」を販売開始

セコムは9月、防犯や防災などのリスク管理から、従業員の就業管理などによる事業効率化まで、企業の事業運営に有益な機能をオールインワンで提供する商



システムセキュリティ「AZ」

品、システムセキュリティ「AZ」を発売しました。

「AZ」という名称には、AからZまで、お客様のありとあらゆるニーズに応えることができるよう、さまざまな機能をいつでも追加できる拡張性を有しているという意味があります。

セコムが24時間365日体制で見守り、異常発生時は迅速かつ適切に対処するサービスはもちろん、安全性の高いICカードや生体認証によるセキュリティ操作をはじめ、新型のカラー対応の画像センサーによるハイグレードな監視や、スマートフォンでのセキュリティの状態確認・警備セット／解除操作などが可能です。

さらには勤怠管理や給与計算といった就業管理のサポートなどの多彩な機能も備えており、セコムならではの安全のノウハウをひとつのシステムにまとめました。

お客様のニーズは施設ごとに異なり、かつ社会状況や技術革新、通信基盤の発展に応じて絶えず変化します。今後も、お客様の利便性の一層の向上と、より高度なセキュリティの提供を図るために、「AZ」の機能を拡充していきます。

日本の空の玄関口、成田国際空港に「セコムロボットX2」を導入

セコムは6月、自律走行型巡回監視ロボット「セコムロボットX2」の第1号のご契約先として成田国際空港でサービス提供を開始しました。

「セコムロボットX2」は、レーザーセンサーにより自己位置を特定しながら敷地内の巡回ルートを自律走行し、搭載したカメラによりさまざまな場所で画像監視を行います。また、巡回後は定められた立哨ポイントで停止し、周囲の監視を行います。

さらに、ロボット上部には赤外線センサー、熱画像センサー、金属探知機を内蔵したアームが搭載されており、巡回中に発見した放置物やルート上に置かれたゴミ箱などを点検することもできます。

成田国際空港は2018年の航空旅客数が約4,260万人に上るなど、国内、海外から多くのご利用客が訪れる日本の空の玄関口です。これまで、セコムでは成



成田国際空港を巡回する「セコムロボットX2」

田国際空港において常駐隊員による巡回監視や立哨、出入管理などの常駐警備サービスを提供していました。

今回の導入に伴い、常駐隊員に加え、「セコムロボットX2」が巡回監視や立哨などの業務の一部を担っていくことで、人とロボットの力が融合したより高度なセキュリティを提供するとともに、警備の効率化を実現していきます。

「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」で警備を実施、「安全・安心」な大会運営に貢献

セコムは9月20日(金)から11月2日(土)の期間に開催された「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」において、常駐隊員が会場の警備を実施し、「安全・安心」な大会運営に貢献しました。

夏季オリンピック、サッカーワールドカップと並び、「世界三大スポーツイベント」の1つに数えられる「ラグビーワールドカップ」に、セコムはオフィシャルスポンサー（トータルセキュリティサービス）として協賛し、東京スタジアムと横浜国際総合競技場の会場警備を担当しました。

会場では、常駐隊員がゲートで手荷物検査やボディチェックを行い、フィールド内では立哨して不測



会場を警戒監視する常駐隊員

の事態に備えるなど、要所の警備を担当しました。

さらに横浜国際総合競技場では、周辺の駅からスタジアムまで続くラストマイルと呼ばれるエリアの警備もセコムが担当し、ウェアラブルカメラを装着した常駐隊員や常設の防犯カメラで警戒監視したほか、神奈川県警察からの要請で同会場付近に上空から地上を俯瞰監視する「セコム気球」を係留しました。

セコムが警備を担当した2会場での試合はすべて無事故で終了し、「安全・安心」な大会運営に貢献することができました。

世界の要人が来日した「G20」の国際会議に 先端技術を駆使したセキュリティシステムを提供

セコムは、6月8日(土)から9日(日)に開催された「G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」、および6月28日(金)から29日(土)に開催された「G20大阪サミット」に最先端のセキュリティシステムを提供しました。

「G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合」では、G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合推進協議会と協力し、ウェアラブルカメラを装着した常駐隊員などによるセキュリティを提供しました。

また、国内開催として史上最大規模の国際会議となった「G20大阪サミット」では、会場周辺の臨時ヘリポート



巡回警備を行った「セコムロボットX2」

や警備用車両基地の厳重警戒のために、自律走行型巡回監視ロボット「セコムロボットX2」や新型の防犯カメラシステム「セコムIPカメラ」などのセキュリティシステムを大阪府警察本部に提供しました。さらに、上空から俯瞰監視する「セコム気球」による警備エリアの事前確認も実施し、「安全・安心」な運営に貢献しました。



会場周辺の警戒にあたる常駐隊員

今後も、独自の技術力や開発力を活かしたセキュリティシステムの提供により、大規模イベントの「安全・安心」な運営に貢献していきます。

国内初、セコムとKDDIグループが 5Gを活用したスタジアム警備の実証実験に成功



上空から監視するKDDI(株)のスマートドローン

セコムは8月、KDDI(株)と(株)KDDI総合研究所とともに、東大阪市の協力のもと、東大阪市花園ラグビー場において、国内で初となる第5世代移動通信システム「5G」を活用した、ロボット・警備員が装備したカメラ・スマートドローン・AI技術を組み合わせたスタジアム周辺の警備の実証実験に成功しました。

本実証実験では、セコムの自律走行型巡回監視ロボット「セコムロボットX2」、警備員に装備した各カメラ、およびKDDIのスマートドローンからの4K映像を、5Gを経由してセコムの移動式モニタリング拠点「オンサイトセンター」へ伝送。広範囲なエリアを高精細な映像で確認でき、不審者の認識から捕捉など一連の警備対応が可能となることを実証しました。

さらに、5Gを経由してセコムの「オンサイトセンター」で受信した4K映像を、AIを活用した人物の行動認識機能で解析し、異常を自動認識して管制員に通知することで、対象警備エリアにおける異常の早期発見と緊急対応が可能になることを実証しました。

セコムとKDDIは2017年2月より5Gの技術実証で提携し、多様な実証実験を通じて、5Gを活用した高度なセキュリティ技術の実現を目指しています。

「サステナビリティレポート2019」を公開

セコムは10月、社会のサステナビリティ（持続可能性）の実現に向けた取り組みを紹介する「サステナビリティレポート2019」をウェブサイト上に公開しました。

セコムでは現在、「セコムグループ2030年ビジョン」で掲げる「あんしんプラットフォーム」構想の実現により、企業の成長とともに社会のサステナビリティにも貢献することを目指しています。

本レポートでは、「トップメッセージ」に加え、「トピックス」「ビジョンと戦略」「ESG 課題への取り組み」の3つのパートでセコムの取り組みを紹介。「トピックス」では気候関連の情報開示への対応とサステナビリティ向上にむけた取り組みやスポーツ支援活動、「ビジョンと戦略」では「セコムグループ2030年ビジョン」に基づく取り組み、「ESG 課題への取り組み」では企業として社会から信頼を得るための取り組みを紹介しているほか、より詳細な情報掲載やデータ開示を行っています。

事業を通じて社会のサステナビリティに貢献するセコムの取り組みをぜひご覧ください。

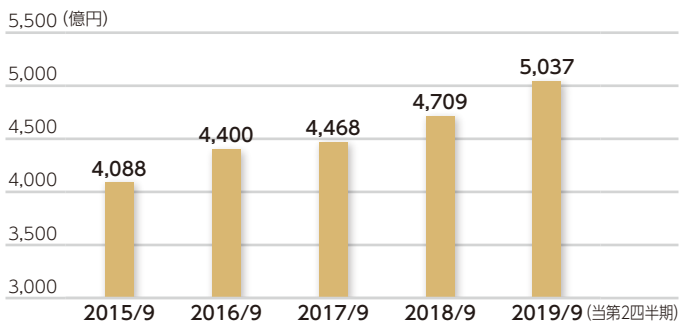


ウェブサイト上に公開した「サステナビリティレポート2019」のトップページ

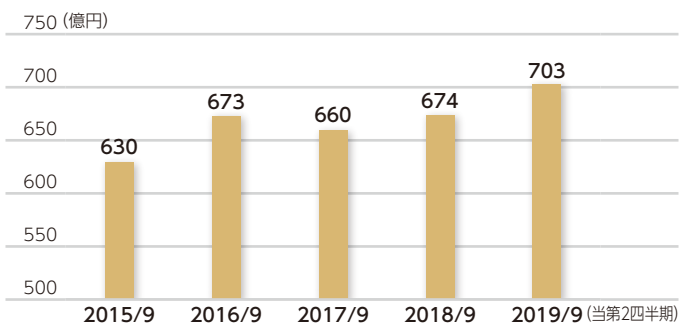
Review

連結決算 業績ハイライト

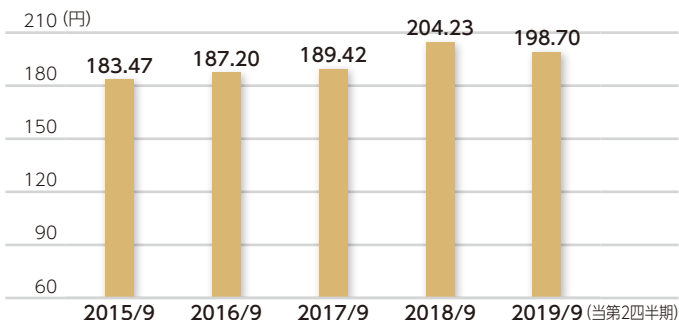
● 売上高



● 経常利益

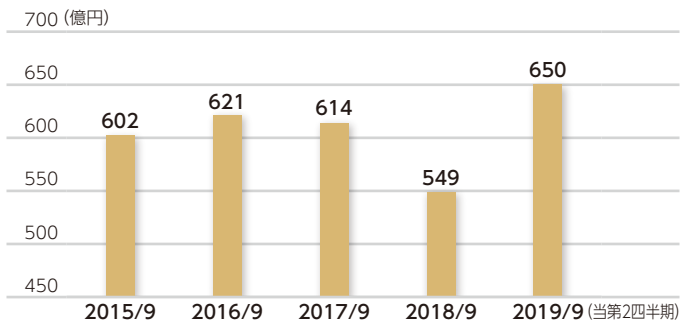


● 1株当たり四半期純利益

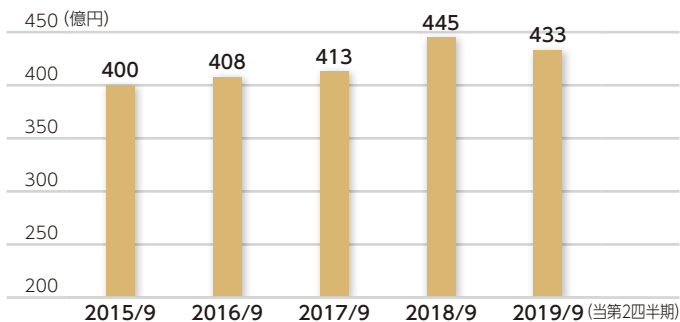


— 第2四半期累計

● 営業利益



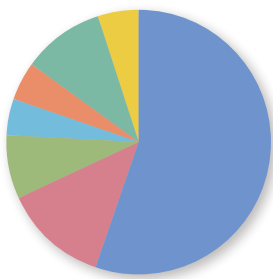
● 親会社株主に帰属する四半期純利益



● 事業別売上高内訳 2019/9 (当第2四半期)

(億円)

● セキュリティサービス事業	2,789	55.4%
● 防災事業	650	12.9%
● メディカルサービス事業	384	7.6%
● 保険事業	233	4.6%
● 地理空間情報サービス事業	229	4.6%
● BPO・ICT事業	496	9.9%
● 不動産・その他の事業	252	5.0%



● 営業の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、高い水準にある企業収益や、雇用情勢の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、通商問題を巡る緊張の増大や中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方など、海外経済の動向と政策に関する不確実性や金融資本市場の変動の影響に加え、自然災害の影響などに留意が必要な状況が続きました。

このような状況において、“いつでも、どこでも、誰もが「安全・安心・快適・便利」に暮らせる社会”を実現する「社会システム産業」の構築をめざす当社グループは、2017年に「セコムグループ2030年ビジョン」を策定し、このビジョンのもと、セコムグループの総力を結集する“ALL SECOM”戦略に加え、想いを共にするパートナーと協業する“共想”戦略を推進しながら、暮らしや社会に安心を提供する社会インフラである「あんしんプラットフォーム」の構築を進めております。さらに、「2030年ビジョン」実現に向けて今何をすべきかを明確化した「セコムグループ ロードマップ2022」を2018年に公表し、ロードマップの実現に向けた取り組みを積極的に展開しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,037億円（前年同期比7.0%増加）、営業利益は650億円（前年同期比18.5%増加）、経常利益は703億円（前年同期比4.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は433億円（前年同期比2.7%減少）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高は8年連続で過去最高を更新、営業利益、経常利益についても過去最高を達成することができました。

Profile

● 会社概要



セコム株式会社

設立 …… 1962年7月7日

所在地 …… 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前1-5-1

資本金 …… 664億円

- グループ総会社数 (セコム(株)含む) …… 195社
連結子会社数 …… 178社
持分法適用関連会社数 …… 16社
- グループ総社員数 …… 63,080名
(2019年3月31日現在)

取締役 (2019年11月30日現在)

取締役 (最高顧問)	飯田 亮
代表取締役会長	中山泰男
代表取締役社長	尾関一郎
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	布施達朗
取締役	泉田達也
取締役	栗原達司
取締役 (社外)	廣瀬篁治*
取締役 (社外)	河野博文*
取締役 (社外)	渡邊 元*

監査役 (2019年11月30日現在)

監査役 (常勤)	伊東孝之
監査役 (常勤)	加藤幸司
監査役 (社外)	加藤秀樹*
監査役 (社外)	安田 信*
監査役 (社外)	田中節夫*

*印の6名を独立役員として東京証券取引所に届け出ております。

執行体制 (2019年11月30日現在)

● 取締役

代表取締役会長	中山泰男
代表取締役社長	尾関一郎
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	布施達朗
取締役	泉田達也
取締役	栗原達司

● 執行役員

常務執行役員	古川顕一
常務執行役員	竹田正弘
常務執行役員	水野都飽
常務執行役員	石村昇吉
常務執行役員	新井啓太郎
常務執行役員	上田 理
執行役員	杉本陽一

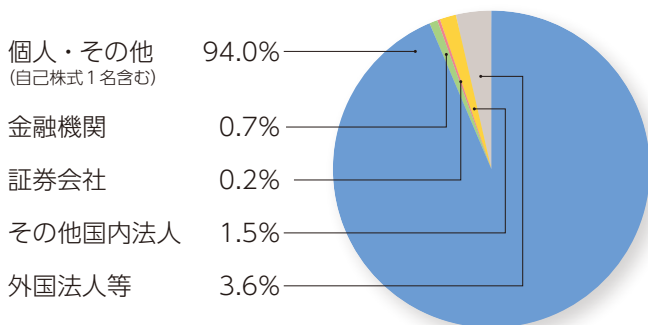
執行役員	福満純幸
執行役員	進藤健輔
執行役員	桑原靖文
執行役員	福岡規行
執行役員	赤木 猛
執行役員	佐藤貞宏
執行役員	山中善紀
執行役員	長尾誠也
執行役員	植松則行
執行役員	永井 修
執行役員	小松 淳
執行役員	御供和弘
執行役員	千田岳彦
執行役員	中田貴士
執行役員	森田通義
執行役員	稲葉 誠

Information

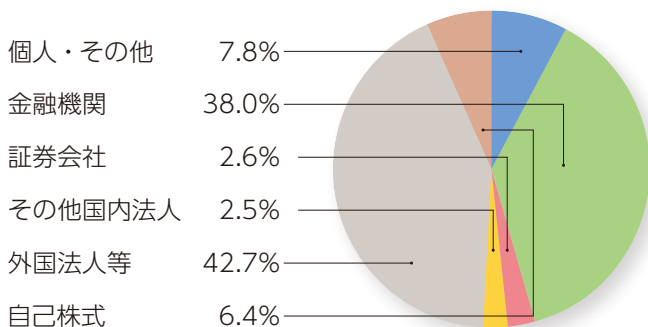
● 株式の状況 (2019年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数 …………… 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 …………… 233,293,998株
3. 単元株式数 …………… 100株
4. 株主数 …………… 23,429名
5. 所有者別状況

● 株主数比率



● 株式数比率



● 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主優待制度 毎年3月31日現在における当社株式
100株以上保有の株主様に、当社グループで利用可能な優待券を贈呈。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告
<https://www.secom.co.jp/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社


● 株式に関する各種お手続きについて

- 証券会社に口座がある株主様は… ▶ 口座がある証券会社へお問い合わせください。
- 特別口座に記録されている株式の株主様は… ▶ 下記の特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行(株)へお問い合わせください。
- 未払い配当金のお支払いに関するお問い合わせは… ▶ 下記の株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵送先
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式のお手続きに関する
お問い合わせ
 **0120-232-711**
[平日9:00~17:00]



2020をセコムする



TOKYO 2020



SECOM



TOKYO 2020

PARALYMPIC GAMES

東京2020 オフィシャルパートナー（セキュリティサービス&プランニング）

セコムは、東京2020オリンピック・パラリンピックのオフィシャルパートナーです。

〈表紙写真のご説明〉

セコムがオフィシャルスポンサー（トータルセキュリティサービス）として協賛した「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」の様子



本誌は環境に配慮し、FSC® 認証紙および植物性インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

セコム コーポレート広報部 757-19-12-244